令和 8 年度日本赤十字広島看護大学　保護者懇談会　議事要旨

日時：令和 8 年 10 月 18 日（日）10：30～11：30

場所：日本赤十字広島看護大学　教育研究棟 103 講義室

参加：保護者の会役員 11 名

大学関係者 9 名（学長、学部長、研究科長、教務委員長、学生支援委員長、図書館長、事務局長、次長、教務学生課長）

保護者 25 名

議事要旨

１．保護者の会　会長挨拶

日頃より学生の教育および生活支援に尽力する大学教職員に感謝している。本懇談会が大学と保護者の繋がりをより深める場となれば幸いである。

２．日本赤十字広島看護大学　学長挨拶

本日はご多忙の折、ご出席いただき心より感謝申し上げる。また同時開催の大学祭にもぜひお立ち寄りいただければ幸いである。

学生たちはコロナ禍による生活・交流面への影響、生成 AI などデジタル技術への戸惑い、そして看護系大学の増加による厳しい就職環境という、大きな環境変化の中にいる。

その中でも学生たちは看護職を目指して一生懸命努力を重ねている。

保護者会の皆様には学生たちの成長を温かく見守り支えていただきたい。この懇談会では本学の教育に関する意見交換を期待している。

３．本学における看護学教育（学部、大学院）の特色（学部長、研究科長）

１）学部の特色

・人道理念に基づく確かな看護実践能力の育成を軸としたカリキュラム構成を導入している。

・F.CESS nurse（実習記録の電子化）、Panopto（動画配信）、Google Classroom、e ナーストレーナー（オンライン自習システム）等の ICT・デジタル学習環境を導入し、効率的な学びを推進している。

・OSCE（模擬患者演習や客観的臨床能力試験）、CBT（実習前のコンピュータ試験）を各学年に配置し、実践的評価体制を構築している。

２）大学院の特色

・修士課程（教育・研究者コース・専門看護師コース）および博士課程を設置し、高度な専門知識と根拠に基づいた看護実践能力を有する看護職・研究者の養成を行っている。

・学部卒業生の臨床経験後の進学支援ならびにキャリア開発支援体制について案内された。

４．令和 8 年度のカリキュラムの進行状況と今後について（教務委員長）

・令和 8 年度の学年暦、講義週数について説明するとともに、定期試験（評価期間）に向けた学習指導を徹底している。

・単位修得の前提条件として、厳格な出席基準が定められている。

・学修上の目標として GPA 2.5 以上を設定し、保健師・助産師教育課程の学内選抜では GPA 2.7 以上を一つの基準として指導している。

５．学生への支援体制について（学生支援委員長）

・教員 1 名が 10～15 名の学生を担当する「チューター制度」により、学修・生活・進路のきめ細かな個別指導を実施している。

・近年の就職決定時期の早期化（3 年次後半～4 年次 4 月）に対応し、3 年次 4 月からのチューター面接、6 月の合同病院説明会・キャリアガイダンス、夏休みのインターンシップ参加等を積極的に推進している。

・過去 5 年間の進路動向において、赤十字医療施設、公的医療機関および国立施設への就職率について説明された。また、大都市圏病院の求人倍率上昇に対応するため早期の就職準備と高い GPA の維持が求められる。

６．国家試験について（学生支援委員長）

・令和 7 年度国家試験結果について報告を行い、国家試験対策として、年間を通じて看護師・保健師・助産師の模擬試験を実施している。

・早期化する就職活動に対応するため、キャリアガイダンスや赤十字施設を含む病院説明会を定期開催している。

７．図書館について（図書館長）

・保護者の会からの補助金を活用し、学生のリフレッシュや生活に役立つ雑誌を購入・配架している。保護者の方々に感謝申し上げる。

・年間の入館者数は約 2.8 万人、貸出冊数は約 1 万冊に上り、学生に積極的に利用されている。

・寄付書籍の買取金額を寄付金（ブックケアプロジェクト）として、学生が自ら選書し購入する取り組みを行っている。ぜひご協力いただきたい。

８．その他

本学の所定年限（4 年）での卒業率は近年 90%弱（全国平均約 82%）となっており、以前の 95%超から低下傾向にある。主な要因として、2 年次から 3 年次への進級判定における単位不足による留年者の増加や 4 年次の単位未修得による卒業延期が挙げられる。学生が目標 GPA（2.5 以上）を目指し、必要な単位を確実に修得できるよう、ご家庭においても日常的な学修習慣形成のサポートをお願いしたい。

９．質疑応答・ご要望・ご意見

１）質疑応答

就職	質問	大学側から「GPA 2.5 を目標に」という案内があるが、GPA が 2.5 以下だと就職で不利になったり、就職できない病院があるのか？
	回答	近年は大都市の大規模病院や特定の人気施設（赤十字病院など）を希望する学生が多く、採用倍率が非常に高くなっております。 本学では、GPA2.0 以上を推薦基準の一つとしておりますが、たとえ GPA2.5 以上あり推薦を受けたとしても、実際の選考で不合格になってしまう場合があります。 一方で中小規模の病院では学生側が応募しないという状況もあります。
学習	質問	英語の自宅学習を行う際、アプリに向かって英語で発音しているが、正しい英語で発音しても通らず、あえて日本語英語（カタカナ英語）のように発音しないと応答してもらえない。大学レベルで教える英語なのか？
	回答	本学の英語講義は外国人ネイティブ教員が指導しており、学年ごとに学習レベルを設定しております。1 年次は基礎からのスタートとなるため、高校で十分に英語を学習してきた学生にとっては易しく感じられる場合があると思われます。 なお、本件においては英語教育そのものの問題というよりも、使用アプリの判定機能による課題である可能性が高いと考えられます。 担当教員に情報提供行ってまいります。
奨学金	質問	奨学金の貸与を受けている病院に就職せず大学院に進学した場合、奨学金は返還しないといけないのか？
	回答	各医療施設が提供する奨学金は、卒業後に当該施設へ就職することを前提として貸与されます。そのため、貸与を受けた病院に就職せず、進学や他の医療施設へ就職した場合は、契約に基づき返還義務が生じます。 なお、一度貸与を受けた医療施設に就職後に働きながら大学院に進学する場合は、その可否や条件は医療施設側の判断となります。
	質問	資料「保護者懇談会」の P12「赤十字医療施設の奨学金制度一覧表」について、毎年変更されるのか？
	回答	奨学金制度は各医療施設の判断で運営されており、年度や経営状態によって募集が変更・再開される場合があります。

２）ご要望

講義	要望	一部の授業や試験の内容・評価方法について改善を求める。
	回答	ご指摘内容を確認し、必要に応じて改善を検討いたします。 学生が安心して質の高い学びを得られるよう、引き続き、講義内容や試験・評価方法の確認を行うとともに、教育の質の改善や授業環境の充実に努めてまいります。
施設	要望	大学は災害拠点となっているようであるが、何かあった時に学生は行かないと（登校）いけないのか？

	回答	災害時、学生が登校する必要はありません。ただし、大学から学生に安否確認（メールまたはアプリ）を行いますので、速やかに返信するよう周知しております。詳細は学生に配布しております「日本赤十字広島看護大学災害時対応マニュアル 2026 年度更新」をご参照ください。
懇談会	要望	本日の大学祭を保護者懇談会の案内に一言も載っていませんでした、さみしくないですか？プリントを子に渡して親に写メを送る等あったのでしょうか？
	回答	大学祭については、年度当初に学生へ案内しており、春の保護者懇談会でも学年暦を配付しております。また、大学ホームページにも開催案内を掲載しております。一方、今回の保護者懇談会と大学祭は同日開催であったことから、懇談会のご案内にその旨を併記していれば、より分かりやすかったと考えております。今後、両行事が同日に開催される場合は、案内文に併記するなどの工夫をしてまいります。
懇談会	要望	懇談会をオンラインで視聴できないか？
	回答	遠方にお住まいの保護者の方や、お仕事・諸事情により当日ご来校が難しい保護者の方におかれましても、大学の教育状況やサポート体制についての情報を共有させていただくことは大変重要であると認識しております。ご提案いただきました懇談会のオンライン配信につきましては、実施にあたっての通信環境・システム面での整備、配信時のセキュリティやプライバシー保護、運営体制などの課題も含め、今後の開催に向けて大学および保護者の会にて検討させていただきます。
交通機関	要望	バスの便によっては満席で地域のお年寄りが乗り降りで不自由されている。大型バスに変更する等、要望はできないのか？
	回答	本学では、混雑が見込まれる時間帯に合わせてバス会社へ増便の調整を要請しており、日頃より柔軟にご対応いただいております。 一方で、バス会社側の採算性といった事情もあり、すべての時間帯で増便を行うことは難しさを伴うのが現状です。 今後もバス会社との協議を継続するとともに、学生に対し高齢者等への配慮や乗降マナーの指導を徹底し、混雑緩和と地域への配慮に努めてまいります。

３）ご意見

内容
専門的な分野をたくさん学べるので、いつも一生懸命勉学に励んでいるようです。2 年生から 3 年生へ進級する時は非常に大切な時期なのだなと感じました。今後も勉学に励んでほしいと思いました。
本日はありがとうございました。とても有意義な時間でした。
日赤病院への就職も厳しい現実があるのだと知り、頑張ってもらいたいと思いました。今後も応援していきたいと思います。これからもご指導よろしくお願いします。
大学の教育方針等参考になり、安心感が持てました。

国家試験に向けて少しずつ緊張感が出てきているようです。多くの先生方、学生の皆様と出会い、考え方が広がり刺激を受け育てていただけております。社会に出て恩返しができるよう頑張ってほしいなと思っております。将来、大学院で学ばせていただく機会があるかもしれません。その際はどうぞよろしくお願い致します。
学習のこと、就職のこと、子供とよく話して決めるきっかけをいただきました。ありがとうございました。